

平成 28 年秋期 応用情報技術者試験合格発表 分析コメントと今後の対策

(株) アイテック IT 人材教育研究部 2016,12,16

10月16日(日)に行われた平成28年秋期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系5試験の合格発表がありました。同時に発表された得点分布などの統計データの分析をもとに、応用情報技術者試験の合格発表コメントをお知らせします。

■応用情報技術者試験 (AP)

[平成 28 年秋期の応用情報技術者試験 統計情報]

応募者	52,845 人
受験者	35,064 人
合格者	7,511 人
合格率	21.4%

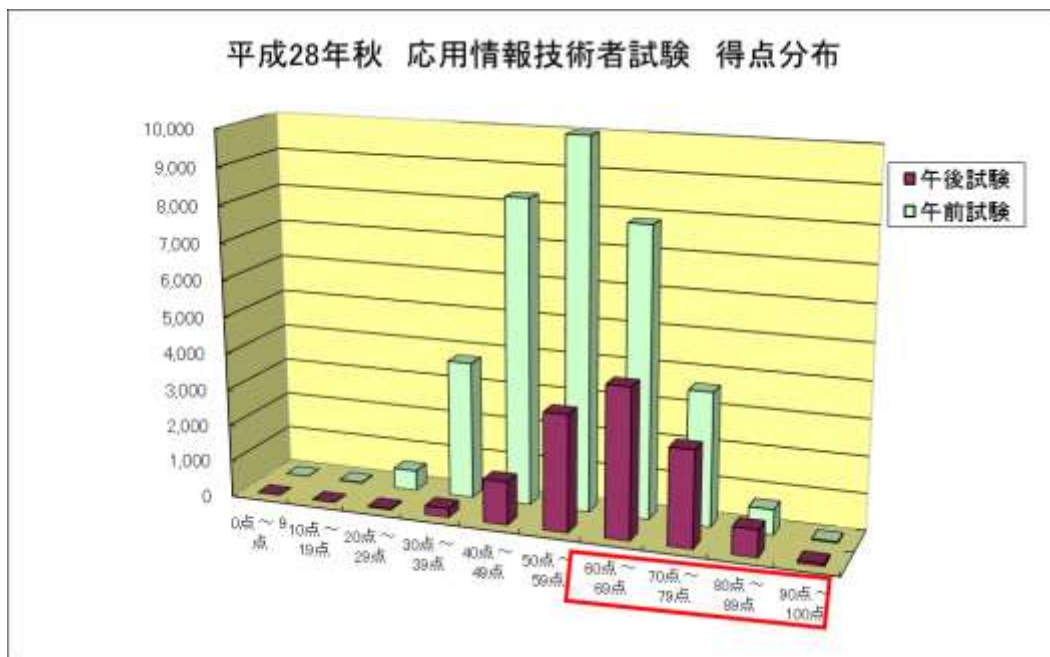
今回の応用情報技術者試験の合格率は 21.4%で前回の 20.5%よりも若干高い結果でした。前回平成 27 年秋期試験は 23.4%という高い合格率でしたが、平均的な結果といえます。

次に発表されたスコア分布の分析とグラフを示します。

[平成 28 年秋 応用情報技術者試験 スコア分布]

平成 28 年秋 AP	応募者	受験者	合格者
人数	52,845	35,064	7,511
率		66.4%	21.4%

得点	午前試験	午後試験	合格者
0 点 ~ 9 点	6	3	
10 点 ~ 19 点	23	7	
20 点 ~ 29 点	553	30	
30 点 ~ 39 点	3,757	245	
40 点 ~ 49 点	8,306	1,183	
50 点 ~ 59 点	10,216	3,176	
60 点 ~ 69 点	7,843	4,073	
70 点 ~ 79 点	3,634	2,621	
80 点 ~ 89 点	688	742	
90 点 ~ 100 点	38	75	
計	35,064	12,155	7,511
対前試験比率		34.7%	61.8%
合格者数	7,511	採点者数の割合	合格者数との差
午前 60 点以上合計	12,203	34.8%	4,692
午後 60 点以上合計	7,511	61.8%	0



今回の平成28年秋期の午前試験では合格基準点の60点以上の人が12,203人で受験者の34.8%でした。前回の試験は53.5%なので20%近くも減ったことになります。今回問題が難しかったといえますが、ここまで低い結果は数年ぶりです。

午後試験で合格基準点の60点以上を超えている人(合格者)は7,511人で、受験者の61.8%にあたります。前回平成28年春期試験では38.6%だったので、こちらは20%以上も上がっています。ここ数年では最も大きい割合でした。午後の試験問題自体は解答しやすいものが多かったのですが、そのまま得点に結びついたようです。

ボーダラインといえる得点結果の人について、午前試験で50点以上60点未満の人が10,216人(受験者の29.1%)、午後試験で50点以上60点未満の人が3,176人(同26.1%)と、どちらも3割弱の人があと10点で合格できるラインにいます。この方たちは合格まで“あと一歩”のところにいるので、苦手と感じる分野を中心に早めに次の試験対策を始めてください。

■平成28年秋期 応用情報技術者試験 出題内容について

(午前問題)

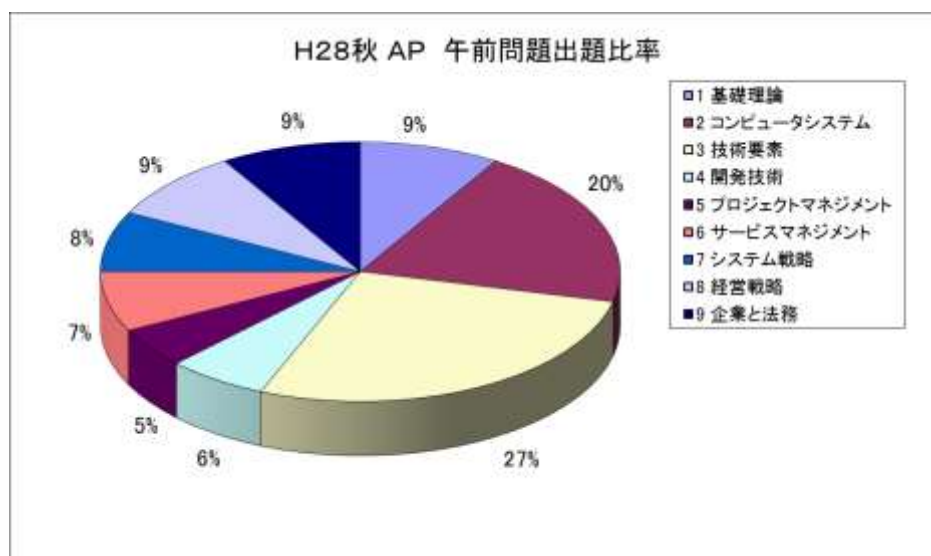
- ・ 午前試験問題はここ数年、少しずつ難しくなる傾向にあり、前回、前々回の試験は難しい問題が少なく全体に解きやすかったのですが、今回は計算問題が増え、難しかったといえます。また、セキュリティ分野を重視した出題になってはいますが、出題数は前回と同じ10問でした。
- ・ 過去問題は全体の6割で前回とほぼ同じですが、応用情報技術者試験の過去問再出題は少なくなっています。高度試験の午前II問題の出題もあり、データベーススペシャリスト試験から1問、システム監査技術者試験から2問、ITサービスマネージャ試験から1問、システムアーキテクト試験から1問出題がありました。これらの問題は少し難しかったといえます。
- ・ 新傾向または新しい用語に関する問題は次のとおりで、前回よりも少なくなりました。なお、他の試験で過去に出ていてもAP試験で初めて出題された問題も含めています。

- 問 7 WebSocket によって実現できること
- 問 13 クラスタソフトウェアを用いた可用性評価
- 問 27 B+木インデックスのアクセス回数のオーダ
- 問 33 IP アドレスが該当するもの

- 問 40 リスクベース認証の特徴
- 問 48 JIS X 0160 におけるソフトウェア実装プロセス
- 問 51 PMBOK コンフィギュレーション・マネジメント
- 問 64 リサイクル法に基づく使用済 PC の回収・再資源化
- 問 72 クラウドソーシングの説明
- 問 79 組織的安全管理措置の説明
- 問 80 集団思考の説明

- ・ 計算問題は 12 問で前回の 6 問と比べて 2 倍の出題数で大きく増えています。また、文章問題が 48 問→44 問、用語問題は 14 問→11 問でそれぞれ前回よりも少し減っています。

平成 28 年秋期の応用情報技術者試験 午前問題出題比率



(午後問題)

午後試験の問題は、解答数が 5 問に減ってから、3 回目の実施になります。

今回出題された問題は、選択が自由になった問 2 の経営戦略、問 3 のプログラミングの内容はどちらも身近な題材だったため、前回と同様に解答しやすかったといえます。

午後の試験対策としては、各問題の出題テーマに関連する午前試験レベルの知識を確実に理解し、問題事例に適用できるように、しっかり演習を行う必要があります。

- 問 1 生体認証システムの導入 (情報セキュリティ)
- 問 2 コンビニエンスストアにおけるマーケティング戦略 (経営戦略)
- 問 3 魔方陣 (プログラミング)
- 問 4 災害復旧対策 (ディザスタリカバリ) (システムアーキテクチャ)
- 問 5 IP 電話の導入 (ネットワーク)
- 問 6 ネットショップの会員管理 (データベース)
- 問 7 腕時計型脈拍計の設計 (組込みシステム開発)
- 問 8 モジュール分割 (情報システム開発)
- 問 9 ガソリンスタンド事業における料金システムの更新 (プロジェクトマネジメント)
- 問 10 販売管理サービスの変更 (サービスマネジメント)
- 問 11 ID 管理の監査 (システム監査)